

## 家庭生活（衣服の管理）

# 洗濯物たたみ

小出特別支援学校川西分校（高等部） 村田 敏恵

### ねらい・目標

- ・いろいろな種類のタオルや服をたたむことができる。
- ・家でも実践することができる。

1学期の  
学習

夏休みの  
宿題

2学期の  
学習

冬休みの  
宿題

3学期の  
学習

### 指導の工夫①

#### より家庭に近い環境で練習

- ・家庭でのたたみ方、手伝いの頻度などを聞き取る。（1学期・夏休み）
- ・小物かけやハンガー等から洗濯物を取り込む。
- ・床にシートを敷いて、作業スペースを作る。
- ・タンスにしまうことを想定し、ケースに入れる。

冬休みの課題として家庭で実践  
→確実に身に付ける

### 指導の工夫②

#### 二人組で練習

- 得意な生徒は、自信をもち次のステップへ。（実態に応じたたむ物を変える）
- 苦手な生徒は、手本を見ながら覚える。



二人組で体操着の上着をたたむ様子

### 指導の工夫③

#### たたみ方検定の実施

- 頑張った達成感、次への目標が分かる。
- 保護者へも伝わりやすい。



### 生徒の変容

以前

- ・体操着を脱いだままの状態で鞆に入れていた。
- ・本来はできるが、やろうとしない。

授業

- ・たたむという意識をもち始めた。
- ・周りの仲間の見本となることで自信をもつことができた。

その後

- ・脱いだ体操着をたたむことができるようになった。
- ・継続して取り組むことができるようになった。

### 成果と課題

（成果）

- ・たたもうとする意識を高めることができた。
- ・家庭での実践を行うことができた。

（課題）

- ・校内、家庭で継続して取り組んでいくための仕組みづくり。
- ・たためる衣類を広げていくための取組。